

## 草笛の僧

東京室内装飾事業協同組合専務理事 白鳥 伍朗

旅の僧がこの地に足を止めたのは、私の小学四、五年生の頃か。細身の僧は教員下宿に住み、ゴザと鍋と七輪をぶら下げ城址公園「懐古園」に毎日通っていた。そこには島崎藤村の詩碑があり、日中はその周辺で何となく過ごし夕方帰る。雨は側の東屋で凌ぎ寒風の囲いでやり過ごしていた。座禪を組むのも経を唱える姿も見えたことはない。何をしている訳でもなかった。

僧の正体について「位の高い坊さん。地位を捨て修業の旅に出た」とも「由緒ある寺から勘当された」とも。それ以上の詮索は誰もしなかった。

何となく僧と親しくなった。互に名も知らない。視線があつた時だけ「ニッ」と挨拶めいた小さな笑みの後に「いま学校の帰り？」と聞いて来た。頬がこけ、生気のない肌は初めの頃こそ一種の薄気味悪さがあったが、見慣れてみれば静かなだけの老僧であつた。声も蚊が鳴くよりまだ小さかつた。中学生になると不良ぶつて公園でたむろすることが多くなつた。僧は相変わらず「ニッ」の後に「いま学校の帰り？」と続けた。

僧は草笛を吹いていた。照葉樹の葉を湯飲みで濡らせ唇に当てて「千曲川旅情の歌」を奏でていた。もの悲しい音色であつた。

真似てみたが薄い葉で辛うじて音が出るだけで何時まで経つても曲には至らなかつた。高校へは電車で隣町へ通つた。帰りに公園に立ち寄る回数も増え、授業をサボることも人並みに覚えた。真つ昼間からゲタを鳴らして公園でふざけ合つていた。僧はこの時も「いま学校の帰り？」。説教めいたことは一切言わない。

大学へ入つて田舎を離れた。貧乏学生はアルバイトに追われ帰省する機会は少なかつたが、それでも帰省の折は必ずと言つていい程公園に寄り僧に顔を見せた。僧はまた「いま学校の帰り？」と聞いてきた。学校の帰りには違いないんだけど……。

就職は東京でした。帰省の機会はさらに少なくなつたが、駅を降りたらまず公園へ行つた。案の定、僧はまたまた「いま学校の帰り？」と聞いてきた。

何時からか筆書きの「千曲川旅情の歌」の楽譜を観光客に売られるようになっていた。それまで僧が糧を何で得ているか等考えもしなかつた。楽譜とて酔狂な客が求める程度だからとても糧にはなるまい。筆者も一枚を求めてその時初めて僧の名を横山素道と知つた。楽譜の端に墨字でそう書いてあつた。「いま学校の帰り？」はその後も続き、

結婚し子供を抱いて帰つても、僧の口から出る言葉は「いま学校の帰り？」であつた。あの僧には、時間は止まつていたのかも知れない。

数年後の父の葬儀の帰省では立ち寄れず、何回目かの法事の際に久々に公園に足を延ばした。僧の姿はなかつた。周りの何人かに聞いてみたが確かなことは誰も知らない。初めて言葉を交わしてから五〇年をゆうに過ぎてゐる。もう亡くなつてゐるのかも知れない。

## 黄色いハンカチ

## SOSハンカチで 助かつた

東京小諸会常務理事 松戸市はつちクラブ連合会長 白鳥 ひろじ

実は、私は昨年十二月十九日、駅前のロータリーで友人とバスを待ちながら立ち話していた時、突然後ろから車がぶつかつて来て、二メートル程飛ばされた。車は急停車した。

もうろうとして何が何やらわからないうちに、私は救急車に乗せられ、何か聞かれてゐるけど、まともに答えられなかつたよ。うだが、無意識のうちに持っていた鞆を指差したようだ。鞆の中にはいつも、「SOS黄色いハンカチ」が入れてあり、このハンカチには、名前・住所・連絡先・掛かり付けの病院・薬・血液型など何かあつた時に必要な事項の全てが書いてあつたので、

かつて僧が寝泊まりしていた教員下宿も取り壊され、今は荒地地となつていた。傍らの草の葉を唇に当て吹いてみた。僧と遊んだ頃辛うじて出た音も今は出ない。時は確実に経つていた。



対応に役立ち助かつた。連絡先は二ヶ所あると良いと思う。

縁石に頭を打ちつけたが、その時、手にも持つていなかったもので、無意識のうちに両手で頭をかばつていたらしく、幸い頭は無事。だが肋骨の二番と三番が折れてギブス、腰の強打で車椅子から松葉杖となり、二ヶ月間苦しみました。車椅子生活になつていてもおかしくない事故でしたのに幸い助かつた。「人の痛みを知りました」。命のありがたさ、人の痛み苦しみを身をもって知りました。

「黄色いハンカチで愛の絆」命を救うSOSのハンカチで暖かい優しい心。

# 信濃国の県名が何故「長野」か

## 新刊「信州地名の由来を歩く」から

東京小諸会副会長 高橋 昭平

### 信濃国分寺跡

中学時代、私は上田への通学の途次大屋・上田間の線路脇に「国分寺跡」があるのを見て、「どうして此処に国分寺が？」と不審に思いながらも、余り気にも留めずそのまま、今日まで来ていた。ところが、今度この本を本屋で見掛け、一寸立ち読みしてみたところ、七十年来の疑問がたちどころに解けしまったので、ぜひご紹介してみたいと思ひ、筆をとった次第。

本書の第八章「ふるさとの地名の由来」  
「松本」の項をよむと、信濃の「国府」が松本に置かれる前（古代）は、それは「小県郡」に置かれていたのだという。その理由は、当時「木曾郡」は信濃国ではなく美濃國に属していたので、松本では必ずしも信濃國の中央とはいひ難く、また古代、東山道は美濃國から神坂峠を越え信濃（下伊那郡）へ入り、一路北上して松本に入り、更に保福寺峠を越え青木村に出て、上田の国分寺前を通つて、小諸から碓氷峠を越えて群馬県に入っていたといひ、木曾谷には信濃に通ずる道が通つていなかったからだという。

次に、本書の第八章「松本」の項には、「国府が上田から松本に移つたのはなぜ」とあ

り、筆者は木曾に信濃の道が通じて、木曾が信濃國に属することになつたので国府が松本へ移されたと推論している。

### 「長野」という地名

我々長野県人として一番身近な「長野」という地名については、善光寺の縁起からんで詳述されており、初めて知つて驚いている。

古代、百済國の聖明王により欽明天皇に献上された仏像と経論が、その礼拝の可否をめぐる蘇我、物部両氏の間を争いを生じ、結局仏像は難波の堀江に投げ込まれてしまった、ということは良く知られている。この仏像が信濃國の人・本田善光により拾われ、善光の故郷信濃國の麻績（現飯田市）に持ち帰り安置され、更にその四十年後に水内郡（現長野市）に移されたという。

この難波の堀江は、現在の大阪市藤井寺小山だとされ、ここに「小山善光寺」という寺が今もあるが、そこはかつて「河内国志紀郡長野郷」と呼ばれていたところで、「長野」という地名も、ここからきたのではないかと考えられるという。つまり、小山善光寺（河内国長野郷）

元善光寺（信濃國伊那郡麻績郷）

善光寺（信濃國水内郡＝現長野市）

という流れとなるが、この河内から伊那、水内というルートの謎は、未だ解明されていない。

しかし、著者は推測することは可能であるとして、「信濃國古代史考」（名著出版）の中の、大和岩雄氏の説「当時、今の善光寺平一帯は、渡来人の移住地であり、六世紀にこの水内一帯に河内國の長野郷から長野氏なる一族が移住したことが、善光寺の創建にかかわっている」という説を紹介している。

本書では、「長野」という地名のほか、県内の地名で「信濃」「伊那」「木曾」「諏訪」「真田」「姨捨」「黒姫山」等について、その名の成立の由来が記述されている。佐久に関する記述のないのが些か残念であるが。

### 信州出身の偉人の生地を訪ねて

筆者の谷川彰英さんは、松本出身ということから、故郷の山野を歌った歌詞の「故郷」（兎追いしかの山）等の作詞者「高野辰之」（中野市）、「仰げば尊し」等を世に広めた「伊沢修二」（高遠町）の出身地を引合いにし、貧しい土地にも拘らず美しい自然を背景とした住民の、学問、教育への志向の強いことが、信州の特質かもしれない、としている。

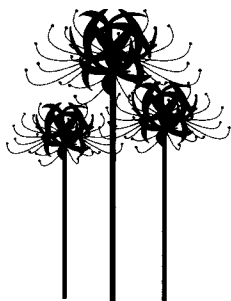
このような自然・風土に育てられた信州の文化人として、著者は「小林一茶」「佐

久間象山」「萩原碌山」「岩波茂雄」等の人物を挙げ、その人物と生立ちの土地について述べている。

### 終りに

著者は、松本出身で東京教育大学卒・教授・副学長等の経歴の学者であるが、その記述は極めて軟かく、まさに故郷を廻つて各地を語り継いでいるといった感じで、気楽に且つ興味深く読めるので、一読をお奨めしたい。

ベスト新書 谷川彰英著  
「信州地名の由来を歩く」



東京小諸会副会長  
長野県人会連合会理事

市川 源太郎

東京小諸会常務理事

飯 高 盛 龍

東京小諸会常務理事  
会計担当

岩 崎 忠 男

東京小諸会監事

掛 川 國 雄

東京小諸会常務理事  
ホームページ担当

北 村 尚 巳

東京小諸会常務理事

小宮山 栄

コミイ株式会社社長  
国際著学会理事  
〒332-0001 埼玉県川口市並木二丁目三  
電話(048)2501531

東京小諸会

会 長 小 山 洋 之 介

東京小諸会副会長  
長野県人会連合会評議員  
東京浅間会顧問

小 山 清 吾  
(能美防災(株)顧問)

東京小諸会常務理事

小 山 平 六

東京小諸会常務理事  
松戸市はつらつクラブ連合会

会 長 白 鳥 ひ さ じ

〒270-2222 千葉県松戸市高塚新田三〇二  
電話(047)3915959

東京室内装飾事業協同組合  
専務理事

白鳥 伍朗

〒105-0003 東京都港区西新橋一丁目七 山形ビル  
電話(03)35503058  
FAX(03)35503147

東京小諸会監事  
高級乾菓子卸  
清水屋

鈴 木 裕 子

〒101-0002 東京都千代田区岩本町二丁目一五  
電話(03)38660721

東京小諸会常務理事

須 田 武 久

〒252-0022 相模原市中央区由野台一丁目一四一  
電話(042)7551687

東京小諸会副会長

高 橋 昭 平

〒162-0001 東京都目黒区東ヶ丘一丁目二八八  
電話(03)34181041

東京小諸会副会長

田 沢 雄 二 郎

〒183-0002 東京都府中市押立町四一五  
電話(042)4861206

東京小諸会副会長

土 屋 佳 代 子

〒151-0001 東京都渋谷区本町二丁目六六  
電話(03)33781241

東京小諸会常務理事

八 木 澤 弘 志

〒272-0003 市川市新田二丁目一七  
電話(047)3781342  
(小諸市田町出身)

東京小諸会常務理事  
造花材料製造卸  
有限会社アオイ

取 締 役 柳 沢 紀 子

営業所 〒176-0002 東京都練馬区豊玉北四丁目二八十六  
電話(03)39481611(代)  
FAX(03)39481639

東京小諸会副会長  
三和シャッター工業株式会社

顧 問 渡 辺 静 雄

〒175-0001 東京都板橋区新河岸二丁目三五  
電話(03)5998911

東京小諸会  
役員有志協賛

躍進する香坂グループ

株式会社 香 坂 建 設

信 濃 培 養 土 株 式 会 社

代表取締役 香坂 勝

株式会社 シンコー・エステート

代表取締役 香坂 勝

本社／小諸市甲92番地 ☎0267-22-1184 (代)

信濃培養土(株) ☎0267-22-5439

株式会社 シンコー・エステート ☎0267-22-1184

★ 乾杯をもっとおいしく。  
★ SAPPORO



ビールのと間違える  
ほどのごまかし。



リキュール(発泡性)①

本商品はビールではありません。リキュール(発泡性)①の商品です。



飲酒は20歳になってから。飲酒運転は法律で禁止されています。妊娠中や授乳期の飲酒は胎児・乳児の発育に悪影響を与えるおそれがあります。お酒は楽しく適量で。のんだあとはリサイクル。① www.sapporobeer.jp サッポロビール株式会社